

令和2年12月第11回定例会 一般質問表

質 問 者	件 名 及 び 要 旨
<p>矢加部 茂晴</p>	<p>1. まち・ひと・しごと創生の取組みについて</p> <p>(1) 第1期総合戦略の成果と課題は</p> <p>(2) コロナ禍による社会変化にどう対応していくのか</p> <p>2. 地域コミュニティと自治体職員について</p> <p>(1) 「職員地域応援隊」に期待される効果は</p> <p>(2) 担当職員制度や今回新設されるボランティア組織など、市職員がコミュニティと関わる仕組みも厚みが増したように感じる。今後の展望は</p>
<p>高野 一成</p>	<p>1. インフルエンザと新型コロナ対策について</p> <p>(1) 高齢者のインフルエンザワクチン接種率と医療機関でのワクチン保有・供給状況は</p> <p>(2) インフルエンザワクチン接種に対する補助が必要では</p> <p>(3) 本格的な冬の到来に際し、新型コロナ感染予防に対する市民への啓発が重要では</p>
<p>川口 裕二</p>	<p>1. スポーツ推進のための活動の場の確保について</p> <p>(1) 市民総合体育館建設の考えは</p> <p>(2) 防災センターなどと複合型の市民総合体育館の建設の考えは</p> <p>(3) 窓ヶ原体育館の今後のあり方は</p> <p>(4) 全天候型400mトラックが整備された陸上競技場建設の考えは</p> <p>2. 特別支援教育充実のための支援について</p> <p>(1) 特別支援教育を必要としている児童・生徒は増加しているのか</p> <p>(2) 特別支援教育をどのように考え、どのように推進しているのか</p> <p>(3) 学びの場である教室環境は整備されているのか</p> <p>(4) 職員体制の確立は</p>

令和2年12月第11回定例会 一般質問表

質 問 者	件 名 及 び 要 旨
坂井 久子	<p>1. 教育行政の推進について</p> <p>(1) 休校対策としてオンライン授業の取組みは</p> <p>(2) 不登校生徒向けのオンライン活用は</p> <p>(3) 不登校児童・生徒の居場所は</p> <p>2. 生活困窮高校生への支援について</p> <p>(1) 生活困窮世帯の高校生への支援は</p>
大石 昭彦	<p>1. JR羽犬塚駅周辺開発のビジョンについて</p> <p>(1) 西口改札の整備で、乗降の利便性を向上させるべきでは</p> <p>(2) 東口の商店街活性化をどのように考えていくのか</p> <p>(3) 県税事務所跡地の利活用は</p>
弥吉 治一郎	<p>1. 市の発展、活性化について</p> <p>(1) 長崎新幹線の分岐駅が筑後船小屋駅となるよう国、県に要請すべきでは</p> <p>2. 建設工事の予定価格に対する経営事項審査評価点数の決め方について</p> <p>(1) 国や県に基準はあるのか</p> <p>(2) 筑後保育所建設で評価点数を1,500点以上とした理由は</p> <p>(3) 福岡県内に1,500点以上評価点数を持つ建設会社は何社あるのか</p> <p>(4) 地場産業（企業）育成と評価点数についてどう考えているのか</p>

令和2年12月 第11回定例会 一般質問表

質 問 者	件 名 及 び 要 旨
富安 伸志	1. 「鬼滅の刃」聖地化に向けた取組みの推進について (1) 聖地の一つとして話題になっているが、現状は (2) 市としても支援が必要では 2. 小規模な水路の改修について (1) クリーク防災事業から除外された小規模水路の現状は (2) 今後、計画的な整備が必要では
北原 辰江	1. 生活困窮者への支援について (1) 筑後市における生活困窮者への支援は、どのように行われているのか (2) 今年度の生活困窮者の相談状況は。新型コロナウイルス感染拡大の影響は見られるのか (3) 来年度以降の支援対策をどのように考えているのか
鶴 佑季子	1. 安全安心なまちづくりについて (1) 青パトの現状は (2) 防犯の啓発活動は 2. 動物愛護について (1) 現状と市の取組みは
貝田 義博	1. 市政に関わる課題について (1) 人口推計をどう考えるのか (2) 公共施設等総合管理計画の今後の課題は 2. 新型コロナウイルス感染対策について (1) PCR検査体制の現状と拡充は (2) (独)筑後市立病院の現状と支援は